

IV 民間委託の実施及びその評価

1 平成20年末における委託状況の評価方法

「民間委託の視点・考え方」では、平成20年末に行う評価については、民間委託開始後間もないことから、収支改善に向けた問題点・課題について分析を行っているか、あるいは行おうとしているかなど、委託期間終了時の目標達成に向けた着実な努力を実施しているかをチェックした上で、その結果をもとに存廃を含めたあり方を検討することとしている。

2 委託の状況

上記の考え方に沿って評価を行うこととし、11月14日に、委員懇談会を開催して、株式会社コングレから委託の実施状況について報告を受けた。

その内容はおおむね次のとおりである。

① 収支改善に向けた取組

ア 支出の削減

- 私のしごと館における平成19年度の支出は14.6億円であったが、株式会社コングレが当初策定した計画では、これを委託1年目(平成20年9月～21年8月)には約12.3億円、2年目(21年月～22年8月)には約11.4億円に削減することとしていた。

株式会社コングレが委託業者になることが決まって以降、同社においては、人件費の削減や取引先との契約更改における価格引き下げに取り組み、その結果、年間支出は約10.4億円の見込みになっている。これは、平成19年度と比べ、約4.3億円の削減になり、また、当初の株式会社コングレが策定した計画と比べても、約1.9億円下回る水準になっている。

【支出削減見込み】(株式会社コングレの報告書から抜粋)

(単位:百万円)

項目	機構実績(平成19年度)対比 削減額・削減率	企画書(計画)対 比削減額
人件費(社員クラス)	217 (71%)	
人件費(事務・運営スタッフ)	47 (13%)	
①人件費計	264 (41%)	56(13%)
大口取引先	91 (22%)	
その他経費	74 (19%)	
②経費計	165 (20%)	138(18%)
合計	429 (30%)	194(16%)